

## 合格までには4つの壁がある

こんにちは、西（資格とっ太郎）です。

いつもメルマガをお読みいただきありがとうございます！

ところで、このレポートを書いている今はもう年の瀬も近い11月です。

先日は「行政書士」の試験が終わり、

先月は「宅建士」の試験が終わり、

その前の月には「電験3種」の試験が終わり、

秋は何かと、僕が関わっている資格試験の試験日ラッシュで、超忙しいのですが、

それもようやく落ち着いてきたころなので（汗）

ちょっとこらへんで、僕の今年の総括なんかを述べていきたいなあ、なんて思ってます。

僕は2年くらい前から、世間一般で言われるような間違った勉強法ではなく、本質的なやり方を押さえた勉強法が大事ですよ、

みたいなことを（かなりざっくり言ってしまうと、ですが）お伝えしてきたわけなんですけど、

最近になって、勉強にはいくつかの“壁”があるなあ、とを感じるようになりました。

で、その壁っていうのが、

- 1、スタートの壁
- 2、継続の壁
- 3、効率の壁
- 4、本番の壁

この4つ。

スタートの壁っていうのは、文字通りの意味で、  
「あの資格取りたい!」「こんな勉強をしてみたい!」と  
“思っ” から実際に“始める” 時にある壁です。

「思うけど実行しない」っていうのは、かなり多くの人にありがちなパターンなんですが、  
まず勉強にはそういう壁がある。

そして、スタートの壁を超えた次に待っているのが、継続の壁。

これも、文字通りの意味で、実際に気合を入れて教材も買って勉強をスタートしたのは良い  
んだけど、「続かない」。結局辞めてしまう。っていうパターン。

余談ですけど、かなり多くの通信講座とか資格予備校みたいなのところって、

スタートの壁を越えさせるには全力を尽くすんだけど、それ以降のケアに対して本気  
で力を入れているようなものってあまり見たことないです。

まあ、受講料というお金が発生するのはスタートの壁を超えるとき（講座に申し込むとき）  
ですから、そこに最も力を入れるのは、運営者側からすれば大きなメリットですが、

それがほんとに受講生の結果にコミットできているのかという疑問が残らざるを得ない。

むしろ、個別添削付きの講座なんかの場合は、受講生の学習継続率が高ければ高いほど、そ  
れに比例してサポートの大変さは増しますから継続の壁を越えさせることって、逆にデメ  
リットになったりします。

某大手の通信講座の運営実態の噂を聞いたことがあるのですが、もし受講生が100%の学習  
継続率で添削課題を提出することになると（講師の）人件費がかかりすぎてとても運営でき  
なくなってしまう、

っていうことを聞いたことがあります。

(実際の学習継続率は30%くらいなんだと)

まあそれはさて置き、スタートの壁の次には継続の壁があるわけです。

で、その次の壁としては「効率の壁」というものが存在していて、これがいわゆる“勉強法”によってどうにかしていく部分ですね。

勉強を継続しているんだけど、効率が悪すぎてまったく勉強が進まなくて、理解も進まなければ、それはそれで合格には届かないわけです。

だからこそ、間違った勉強法によって無駄に時間を使うんじゃなくて、効率よく、かしこい勉強のやり方、っていうのが大事になってくるわけです。

で、最後に「本番の壁」ということで、スタートの壁、継続の壁、効率の壁、を全て超えてきて着実に実力はついているんだけど、

なぜか本番で実力を発揮できずに合格できない。  
というパターン。

こういうパターンの方もかなり多いです。  
(逆に、本番だけ強い、っていう人もいます・笑)

過去問の段階や、模擬試験では良い点数が取れているはずなのに、本番になるとなぜか実力の半分くらいしか出せずに終わってしまうっていう人が、やっぱり多いんですよね。

ずーっと頑張って勉強してきて、かなり手ごたえを感じられるくらいにまで地に足の着いた実力が付いたはずなのに、

なぜか本番で実力を発揮できなかった、っていう方はおそらくこのメール講座の受講生の方にも結構いるんじゃないかと思います。

(実際、そういう報告を数名の方から受けていますから。)

某有名通信講座の主任講師の方が、  
今年（27年度）の「行政書士試験」の講評を動画で解説していたのですが、

その方いわく、いくつかの問題は  
「明らかに受験生の動揺を誘うような意図がある」  
とおっしゃっていました。

実際に、こういう“精神攻撃”はいろんな資格試験でもあるんですけど、

本番の壁を乗り越えられないような方っていうのは、こういうのにまんまと引っかかって  
しまうわけです。

とまあ、4つの壁の内容をざっくりと説明しましたが、  
ちなみに比較的こえやすい壁は「スタートの壁」「効率の壁」です。

スタートの壁は、とにかく合格したときのメリットをひたすら想像（妄想）して、自分の心  
をあおっていけば割とすぐに超えられるので、そこまで超えるのがつらい壁でもないです。

特に、このメール講座に登録している時点で、  
既にスタートの壁くらいは超えているはずですから（笑）

メール講座受講生に限っては、もはや壁ですらないはずですよ。

そして、効率の壁、っていうのも、  
これは単純に勉強法を“知って”“実践するだけ”ですから、  
メール講座受講生にとっては、楽々超えられるものです。

おそらく、最もエネルギーを使うのが  
「継続の壁」。

実際、メール講座がステップメールで届いているうちはそれによってモチベーションを保って勉強を継続できたけど、

ステップメールが途絶えた瞬間、勉強も途絶えてしまったっていうパターンも、よく聞きますから、

やっぱり、それくらい何かを“継続する”っていうのは大変なことなんですよね。

で、これに関しては、特別に音声を録って、どのようにして継続の壁を越えていくのか、っていうのを“習慣化”という視点からお伝えしています。

↓こちら

<http://jscatch.com/tottaro/shukanka.mp3>

この音声は、もともと僕が販売している電験3種受験生向けの教材（ECM）の購入者通信でお届けしているものなので、

電験3種受験生を想定した前提で説明していますが、核となる部分は電験受験生以外にも大いに当てはまることなので、

「なんか、モチベーションが続かないんだよね・・・」

っていう、継続の壁でとどまっているような方は、ぜひぜひお聞きください。

ちなみに、継続の壁を超える方法は他にもあって、もし上記の方法でも超えることができないなら、

“場の力”

を上手に活用するしか、おそらく他に方法は無いと思いますが、それについてはまた別の機会でお伝えするとして、

とにかく、継続の壁は上記の音声を聞いて、そして、実践してみてください。

で、最後に残るのが「本番の壁」。

これについては、多くの人が察していることだろうとは思いますが、  
“メンタル”的な部分が大きく作用してきます。

ただ、一口に「メンタルを鍛える」といっても、それを実現するのはめっちゃくちゃ難しく、  
そして苦勞するし時間のかかることです。

実際に、メンタルヘルスの知識をかなり詳しく知っている人がメンタルをやられてうつ病  
になってしまう、

っていうのは全然珍しくない現象です。

事実、かつて僕が務めていた会社の職場にもそういう人はいましたし、僕自身もそうだった  
ので（笑）

そのくらい、根本的にメンタルを変えるっていうのは大変なことです。  
（短期的、一時的に変えるのは難しい事じゃないです。）

よくメンタルマネジメントの世界とかで語られる、セルフケアの、表面的でお手軽なテクニ  
ック論では、なかなか変えられないのが「メンタル」です。

ホントに、根本的に変えようと思ったら、多くの場合「食事」から見直す必要があるので、  
かなりめんどくさいですし、コストもかかります。

理想の体型を手に入れるために、コストを掛けて（お金を払って）トレーニングジムに通っ  
たりするのと同じで、

理想の精神（メンタル）を手に入れるためにも、あらゆるコストが必要になりますから、

例えば、「こういう風に思考パターンを変えればそれで解決」  
みたいなことではないんですよね。

・・・まあその辺は追々お伝えしていくとして、  
とにかく今回は、(しつこいですが)  
音声を聞いて継続の壁を越えてください。

で、既に勉強が習慣化している方は、  
試験が終わったからと言って勉強自体をやめるのは勿体ないです。  
(これについても、音声の中で語っています。)

最後までお読みいただきありがとうございました！

西（資格とっ太郎）